

部会報告

日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会 第 15 回セラミックス関係分析技術者研究発表会の開催報告

資源・環境関連材料部会では、平成 24 年 11 月 15 日（木）に、日本分析化学会との共催で標記研究発表会を開催しました。参加者は 41 名で、6 件の研究発表と 1 件の部会活動報告がなされました。研究発表では、セラミックス材料に対する重量分析法や蛍光 X 線分析法などの組成分析技術、高融点材料に対する化学分析技術、半導体用材料に対するマイクロビームアナリシスを用いる解析技術に加えて、分析値の統計処理技術など、化学的手法に物理的手法も交えて様々な分析および解析技術についての講演が行われました。また、当部会の化学分析分科会の柳澤前主査から「日本セラミックス協会窒化けい素認証標準物質の作製」と題して、在庫切れとなった現ロットに替わる新ロット（JCRM R006, R007, R008）の開発・供給に携わった化学分析分科会の活動報告がなされました。いずれの発表にも多くの熱心な質疑応答があり、参加者各位の関心の高さがうかがわれました。今回は前回に続いて名古屋での開催でしたが、多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに閉会することができました。ご参加くださいました皆さまに厚くお礼を申し上げます。また、当研究発表会の企画、運営に多大のお力添えをいただきました部会役員および分科会関係者の各位に感謝申し上げます。

当部会の化学分析分科会は、現場で活躍するセラミックス関係の分析技術者が一堂に集う国内で唯一の組織です。年に数回の定例の会合に加えて、隔年に開催する研究発表会とセミナーを通じて、各種情報の交換、分析技術の研鑽や技術者の交流を図っています。次年度はセミナーの開催を予定しております。分析技術は材料科学を支える重要な基盤技術のひとつです。引き続きまして、日本セラミックス協会会員の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

（資源・環境関連材料部会化学分析分科会）



写真 1 挨拶をされる三宅部会長



写真 2 講演風景